

学運交ニュース

私達の薬局が加入している全日本民医連では医師・薬剤師・看護師や医療に関わるその他の職種が集まり、民医連に所属する他の事業所や他職種間の交流・能力向上の為、学術・運動交流集会在2年に1度開催されます。

今年は第16回目で石川県金沢市にて10月13日～14日の2日間開催されました。大森薬局から薬剤師2名が参加しました。

学術・運動交流集会では講演とポスターセッションが行われました。

大森薬局として「SNS等を利用した薬局活動と今後の展望」という題名で発表を行いました。

学術・運動交流集会のポスター発表の様子をご紹介します。

〈発表内容〉

大森薬局として現在活用しているSNSの紹介と調剤予約アプリの紹介を行いました。現状の課題と今後より良くなるために取り組んでいくべきことについても発表しました。実際に発表したポスターが右のものになります。



〈感想〉

発表後の質問受付の際は、他の薬局の方から多数の質問頂き、大森薬局として行っている活動が他の薬局から関心を持たれている事が驚きでした。

また、他の事業所が作ったポスターの見学も行い、その中で各事業所が地域に根付くために利用者や患者だけでなく地域の人たちを対象にイベントを行っているなど、各事業所の工夫や取り組みが見られ、是非私たちの薬局でも取り入れていきたいと思いました。

今回初めてポスター作成及び発表といった貴重な経験をすることができました。

次回の学術・運動交流集会でも是非薬局の活動について発表したいと思えます。

SNS等を利用した薬局活動と今後の展望

大森薬局

- ※薬剤師：10名、薬剤：19名
- ※処方箋枚数：約160~200枚/日
- ※店舗設備状況

 - ・大森1号店
 - ・大森2号店
 - ・大森3号店

- ※処方箋枚数：約160~200枚/日

2019年7月 HP委員会を立ち上げSNS活用開始

2020年7月 かかりつけ薬局アプリkakariを導入

2020年12月 Instagram開始

2023年2月 LINEを使った調剤予約サイト「あなたの調剤薬局」導入

kakari

処方箋の写真をアプリ上に送付してもらう
→ 薬局にて調剤し準備出来次第、患者様へ連絡
→ 患者様に処方箋原簿を送付いただきお薬お渡し
→ 待ち時間短縮につながる、患者様の負担軽減
→ 顧客満足度の向上

取手お薬手帳機能・オンライン相談指導に対応
2023年7月よりオンライン相談指導を開始

小児患者様に多く利用していただいております
※家族の負担軽減につながっています。

受付処方箋枚数は150~160枚/月
登録患者数約780名(2023年8月時点)

Instagram

薬局からのお知らせやイベント情報、
職員や薬局の日常写真を投稿。
薬局の宣伝だけでなく職員や薬局の日常を
投稿し、本業に親しみを持ってもらえる投稿
を目指している。

投稿頻度は週に最低1回
フォロワー約280名(2023年8月時点)

2023年よりLINEを用いた集客を開始。

あなたの調剤薬局

新たな予約サイト導入の目的

- ・ kakariのようなアプリを新たに導入し、LINE上にて処方箋を送っていただくことで気軽に調剤予約を行えるようにし、更なる利用者数の増加を目指す。
- ・ 患者様の待ち時間を短縮し、顧客満足度の向上及び職員の負担軽減につながる。
- ・ 予約サイトを普及し、既存の患者様にも事前の処方箋だけでなく薬局から遠い区域機器の処方箋も送っていただき、今後遠隔処方にも力を入れ処方箋枚数増加につなげる。

処方箋の扱い、調剤の流れはkakariと同様
LINE上で受付が出来るため、小児からご高齢の患者様にも利用いただいている。
導入開始半年での利用者数合計は約110名(2023年8月時点)

現状の課題

- ・ Instagramのフォロワー数が少なく患者様や地域の方々の認知度が低い。
- ・ 導入して日が浅いこともあり、あなたの調剤薬局の利用者が少ない。
- ・ 「あなたの調剤薬局」の操作が煩雑で職員が使いにくい。

今後の取り組み

- ・ 「あなたの調剤薬局」の操作が煩雑なため、他のLINEを用いた予約サイトを検討し利用者数増加に努める。
- ・ Instagram等の活動をもっと患者様に知っていただき、身近で親しみやすい薬局作りを目指す。

本演説発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。